NIE実践報告

1．タイトル：グループ新聞を作ろう

2．学校名

愛媛県松山市立伊台小学校

3．実践者名（代表者名）

花山　剛

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語・総合的な学習の時間　31人

6．単元（本時の学習課題）名

「グループ新聞を作ろう」

7．目標（狙い）

身近な生活の中から題材を見つけて新聞の原稿を書き、友達と協力してグループ新聞にまとめる。

8．評価の視点

自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考え、中心になる場面をはっきりさせて新聞の原稿を書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「中心をはっきりさせて書こう」（教科書教材：教育出版）［国語：9時間］
「グループ新聞を作ろう」［総合的な学習の時間：9時間］　合計18時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教材文「長なわとび」を読み、書きたいことの中心と作文の組み立て方の関係を読み取り、中心になる場面を詳しく書くことを知る。（３時間）
②身近な生活の中から題材を決め、新聞の原稿を書く。（6時間）
③実際の新聞を使って、読み手の目を引く見出しや記事の並べ方などの工夫を知る。（２時間）
④グループの友達と分担し、グループ新聞にまとめる。（5時間）
⑤グループ新聞の発表会をする。（2時間）

（留意点）
- 3年生の出来事を振り返り、強く心に残っていることを中心に自分なりの題材を決め、グループ新聞を作る期待感と見通しをもたせる。
- 実際の新聞を参考にしながら、段落や文字数、見出しやレイアウトなどに着目し、読み手のことを考えた原稿になるように助言する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞の原稿を書くことに時間がかかった児童も見られたが、友達と協力しながら意欲的にグループ新聞にまとめ、参観日に保護者の前で発表することができた。

12．成果と課題

小学生には難しい漢字が多く、最初は新聞を活用した学習に消極的な児童も見られたが、実践を通して、学校や家庭で新聞を読んだり、学習の中で新聞を活用したりする児童が増え、新聞に親しもうとする姿が見られるようになった。今後は、新学習指導要領の完全実施に向けて、新聞を効果的に活用するための指導計画の作成や小中学校の連携について模索したい。